

日本を代表するピアニスト 清水和音が  
豪華三大ピアノ協奏曲を一挙に演奏

# 三大ピアノ 協奏曲の響宴

The Three Piano Concertos

指揮 梅田俊明

TOSHIAKI UMEDA

©K.Miura

ピアノ 清水和音

KAZUNE SHIMIZU

©Yuji Hori

ベートーヴェン

ピアノ協奏曲 第5番 変ホ長調 作品73 「皇帝」

チャイコフスキー

ピアノ協奏曲 第1番 変ロ短調 作品23

ラフマニノフ

ピアノ協奏曲 第2番 ハ短調 作品18



管弦楽 広島交響楽団

HIROSHIMA SYMPHONY ORCHESTRA

2025.

5/4 (日・祝) 14:00開演 (13:00開場) 広島文化学園HBGホール

S席: 7,700円 A席: 6,600円 B席: 5,500円

U-25席(引換券): 3,300円 (全席指定・税込) ※未就学児入場不可

※公演時間: 2時間30分予定 ※やむを得ず曲目は変更になる場合がございます。

※U-25席(引換券)は公演日に25歳以下の方のみ対象となります。

お問い合わせ: 中国放送事業部 082-222-1133 (平日10:00~17:00)

主催: 中国放送

中国新聞社

promax

企画・制作: promax

1月18日(土)  
12:00発売

公式サイト



# 日本を代表するピアニスト・清水和音が、豪華3つのピアノ協奏曲を一挙に演奏!

2011年の初開催以来、完売の続く大人気公演!

圧巻の技巧とロマンティックなピアノの響き、会場に充ちる熱狂を名曲とともにお楽しみください。



©Mana Miki

## ピアノ 清水和音 KAZUNE SHIMIZU

完璧なまでの高い技巧と美しい弱音、豊かな音楽性を兼ね備えたピアニスト。

ジュネーヴ音楽院にて、ルイ・ヒルトブラン氏に師事。1981年、弱冠20歳で、パリのロン＝ティボー国際コンクール・ピアノ部門優勝、あわせてリサイタル賞を受賞した。これまでに、国内外の数々の著名オーケストラ・指揮者と共演し、広く活躍している。室内楽の分野でも活躍し、共演者から厚い信頼を得ている。

1995年秋から2年にわたって行われた、ベートーヴェンのピアノ・ソナタ全32曲演奏会は、その完成度を新聞紙上で高く評価され、ライヴ録音のリリースされた。これまでにソニーミュージックやオクタヴィア・レコードなどから多数のCDをリリースし、各誌で絶賛された。2024年10月には『清水和音の芸術』と銘打たれ、そのベートーヴェンピアノ・ソナタ全集、ソニーミュージック時代、RCA時代の全てのCDが再リリースされている。

2011年には、デビュー30周年を記念して、ラフマニノフのピアノ協奏曲第1番～第4番とパガニーニの主題による狂詩曲の全5曲を一度に演奏するという快挙を成し遂げた。2014年から2018年の5年間は年2回のリサイタル・シリーズ「清水和音 ピアノ主義」を開催。幅広いレパートリーで聴衆を魅了した。デビュー35周年を迎えた2016年5月には、ブラームスのピアノ協奏曲第1番及び第2番を熱演。同年4月からは、年6回の室内楽シリーズ「芸術ランチコンサート」を開始。デビュー40周年となった2021年秋には「清水和音 ピアノの祭典」と題し、ソロから室内楽まで4時間を超えるプログラムで大きな存在感を示した。桐朋学園大学・大学院 教授。



©K.Miura

## 指揮 梅田俊明 TOSHIAKI UMEDA

1984年桐朋学園大学音楽学部卒業。1986年同研究科修了。指揮を小澤征爾、秋山和慶、尾高忠明の各氏に師事。1983、1984年にはジャン・フルネ氏にも学ぶ。1986年よりウィーン国立音楽大学指揮科に留学、オトマール・スイトナー氏に師事し研鑽を積んだ。帰国後、日本センチュリー、仙台フィル、神奈川フィルの指揮者を歴任。NHK響、読売日響、東京都響、東響、日本フィル、新日本フィルを始め、国内主要オーケストラと長年にわたり共演を重ねている。2000年より仙台フィル常任指揮者に就任。オーケストラの発展に情熱を注ぎ込み、2006年3月までその任を務めた。2006年には大ブームとなったドラマ「のだめカンタービレ」に演奏及び指揮指導で参加し、注目を集めた。国内だけでなく1996年には南西ドイツ・フィル、スロヴァキア・フィルの定期演奏会にも出演し、注目を集めた。国内だけでなく1996年には南西ドイツ・フィル、スロヴァキア・フィルの定期演奏会にも出演し、注目を集めた。的確な棒さばきと音楽に対する誠実な姿勢でオーケストラからの信頼が厚い。東京藝術大学非常勤講師として後進の指導にもあたっている。



## 管弦楽 広島交響楽団 HIROSHIMA SYMPHONY ORCHESTRA

国際平和文化都市“広島”を拠点に“Music for Peace～音楽で平和を～”を旗印として活動するプロオーケストラ。2024年4月からクリスティアン・アルミンクが音楽監督に、徳永二男がミュージック・アドバイザーに就任。下野竜也が桂冠指揮者、秋山和慶が終身名誉指揮者を務めるほか、ウィーン・フィル、コンサートマスターのフォルクハルト・シュトイデをミュージック・パートナーに、細川俊夫をコンポーザー・イン・レジデンスに迎えている。また、ピアニスト、マルタ・アルゲリッチには2015年の「平

和のタペ」コンサートでの共演をきっかけに広響「平和音楽大使」の称号を贈り、相互に平和を希求する音楽活動を続けている。

1963年「広島市民交響楽団」として設立、1970年に「広島交響楽団」へ改称。学校での音楽鑑賞教室や社会貢献活動にも積極的に取り組み、地域に根差した楽団として「広響」の愛称で親しまれる。1991年の「国連平和コンサート」(オーストリア)での初の海外公演以降、チェコ、フランス、ロシア、韓国、そして2019年にはポーランド・ワルシャワでの「ショパンと彼のヨーロッパ国際音楽祭」に招かれ、ヒロシマのメッセージを音楽で海外へも発信。これまでに「文化対話賞(ユネスコ)」「広島市民賞」「ENEOS音楽賞」ほか受賞歴多数。

公式Web <http://hirokyo.or.jp/>

S席:7,700円 A席:6,600円 B席:5,500円 U-25席(引換券):3,300円 (全席指定・税込)

### プレイガイド

- ・チケットぴあ(Pコード:288-494) ・ローソンチケット(Lコード:62460) ・イープラス ・RCCオンラインチケット
- ・CNプレイガイド 0570-08-9999 (10:00~18:00/オペレーター受付) ・エディオン広島本店 東館9階プレイガイド
- ・中国新聞社読者広報部 082-236-2455 (平日10:00~17:00)
- ・中国新聞販売所 (取り寄せ)

\*未就学児入場不可 \*U-25席(引換券)は公演日に25歳以下の方のみ対象となります。当日、引換券受付にて鑑賞者ご本人の身分証明書(学生証・運転免許証、マイナンバーカードなど)にて年齢を確認させていただきますので、引換券と合わせて忘れずにお持ちください。 \*車椅子でのご来場をご希望のお客様はS席チケットをご購入の上、中国放送事業部まで事前にご連絡ください。

お問い合わせ:中国放送事業部 082-222-1133 (平日10:00~17:00)

公式サイト

